

日ラグ協発第 12-316 号  
平成 24 年 8 月 15 日

関東ラグビーフットボール協会  
会 長 貴島 健治 様  
関西ラグビーフットボール協会  
会 長 坂田 好弘 様  
九州ラグビーフットボール協会  
会 長 徳田 昇 様

(財)日本ラグビーフットボール協会  
専務理事 矢部 達也



「競技規則第 3 条、第 5 条、第 8 条」についてのルーリング

**2012-2 (競技規則の確認) (通達)**

拝啓、平素は日本ラグビーの普及発展につきまして多大なるご尽力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、競技規則につきまして、IRB よりこのほど、下記の通りルーリングに関する通達が出されました。

日本協会でもこれを受け、ここに通知いたします。貴協会におかれましても加盟都道府県協会、および、各チームに周知徹底いただけますようお願い申し上げます。

敬具

記

イングランド協会からのルーリング要請

**競技規則 3.11 (b)**

負傷またはその他の理由により退場したプレーヤーは、レフリーから戻る許可を受けるまで再び試合に加わってはならない。レフリーは、ボールがデッドになるまで試合に加わらせてはならない。

**競技規則 5.7(e)**

試合時間が終了したが、ボールがまだデッドではない、あるいは、スクラムまたはラインアウトが与えられそれらがまだ終了していない場合、レフリーは次にボールがデッドにな

るまで競技を続行する。レフリーがスクラム、ラインアウト、反則しなかった側のプレーの選択、ドロップアウトを与えるであろう場合、あるいは、コンバージョンまたはペナルティキック成功の後、ボールはデッドになる。スクラムを組み直さなければならない場合、スクラムはまだ終了していない。時間が終了した後、マーク、フリーキック、またはペナルティキックが与えられた場合は、競技を続行する。

#### 競技規則 8.3 (f)

ボールがデッドになった後：ボールがデッドになった後、アドバンテージは適用されない。

1. チーム A に一時的に退出したプレーに戻ることを待っているプレーヤーがいて、退出時間が終了した。そして、チーム A がボールをタッチに蹴り出した。チーム B は、クイックラインアウトがしたい。レフリーは、クイックラインアウトを認めるのか、あるいは、チーム A のプレーヤーがフィールドに戻ることを認めるのか？
2. 同じシナリオだが、一時的退出の時間が終了したのではなく、入替えの要望が出された時の場合。

ラグビー委員会の指定メンバーによるルーリング：

競技規則 3.11 (b)には、「負傷またはその他の理由により退場したプレーヤーは、レフリーから戻る許可を受けるまで再び試合に加わってはならない。レフリーは、ボールがデッドになるまで試合に加わらせてはならない。」と書いてある。

レフリーは、このような状況において、一方のチームにクイックスローインを行わせる権利を有する。レフリーがクイックスローインを認めた場合、一時的退出を命ぜられていた、または、一時的に交替していたプレーヤーは、レフリーが定める次のプレー中断時に試合に戻るることができる。

以上